

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700933
事業所名	グループホーム 福住苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	高校生のボランティアや中学生の職場体験を受け入れている。近所の方が絵手紙の先生として訪問してくれたり、映像を使ったボランティア等、多種多様な方の訪問があり、入居者の楽しみになっている。地域の盆踊りや行事には入居者も一緒に参加し、地域の方と交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は2カ月に1回実施している。区長、民生委員、町の介護保険課、地域包括支援センター職員、家族、ホーム職員をメンバーとし、ホームの行事報告を行い、地域の方から情報を得て、行事等に参加するなど運営に反映させている。ホームで開催する認知症の講演会の際は、地域の方にも参加してもらえよう回覧板を活用し、参加を促すなど啓発活動に取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	行政の担当者には、分からないことがあれば気軽に相談している。書類の申請等で訪問し、情報等を得ている。町主催の講習会や研修会には積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族面談を実施しており、家族から出された意見は会議で話し合い、改善できることはすぐに対応している。職員の言葉遣いについて意見があがった時には、会議で話し合い職員に周知徹底を図っている。外部評価における家族アンケートの結果からも、「話をよく聞いてくれる」「訪問しやすい」と評価を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。